

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/06/02

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.59	-0.11
JPY/THB	0.2492	0.0002
USD/JPY	138.80	-0.54
EUR/THB	37.23	0.11
EUR/USD	1.0762	0.0073
USD/CNH	7.104	-0.015
SGD/THB	25.67	-0.01
AUD/THB	22.74	0.17
USD/INR	82.41	-0.31
USD Index	103.56	-0.77

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.204	-0.002
10Y (THB)	2.501	0.000
5Y (USD)	3.698	-0.057
10Y (USD)	3.595	-0.048

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,978.0	14.1
WTI (Oil)	70.10	2.01
Copper	8,243.5	154.5

Stock

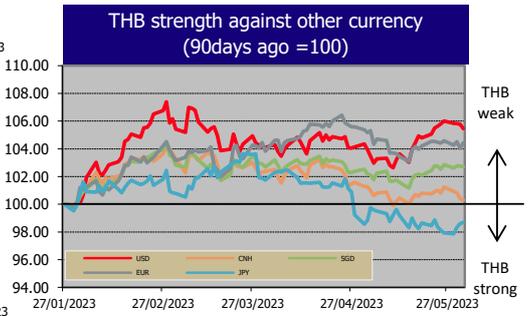
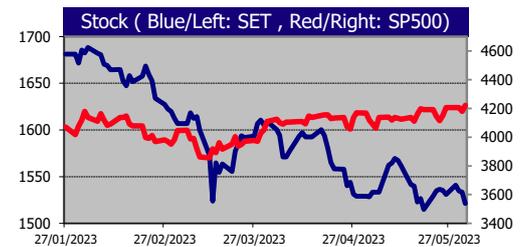
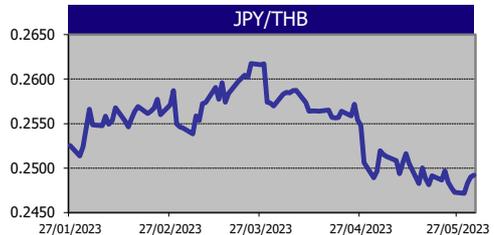
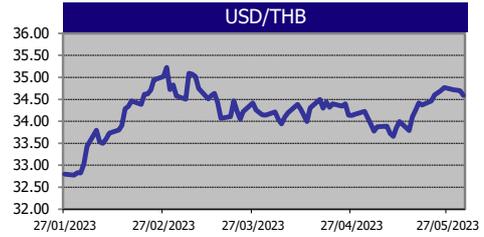
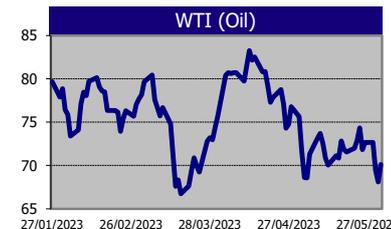
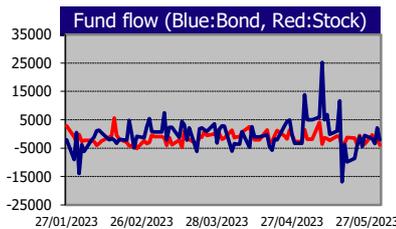
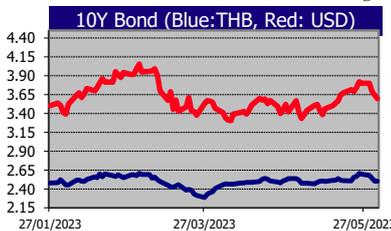
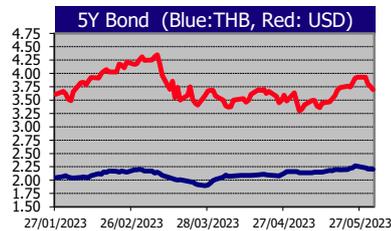
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,521.40	-12.14
NIKKEI (JP)	31,148.01	260.13
DOW (US)	33,061.57	153.30
S&P500 (US)	4,221.02	41.19
SHCOMP (CN)	3,204.64	0.07
DAX(GER)	15,853.66	189.64

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,891)	-1902.8
Bond net flow	(2,069)	-4237.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは終盤にかけて下落。34パーツ半ば付近でスタートしたドルパーツは、序盤、中国5月財新PMIが市場予想を上回る結果であることが確認されると、発表直後は人民元高で反応。パーツも連れ高の展開に。ただ、31日に発表された国家統計局の数値と対照的な結果であったことに加え、サブ指数を見ると、向こう1年間の企業信頼感を測る指数は低水準であったこともあり、勢いは限定的に。寧ろ米下院で債務上限停止法案が可決されたことを受けたドル買いにより、バンコク時間終盤にかけてドル人民元、ドルパーツともに反転上昇し、ドルパーツは一時34パーツ後半まで値を伸ばした。ただ、海外時間に入り、米国経済指標の市場予想を下回る結果やFed高官からの次回FOMCでの利上げ停止を支持する発言等を受けドルパーツは大きく下落。34パーツ半ば付近で下落は一服したものの、終盤にかけても上値の重い推移が続き、結局34.59レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。139円台前半で取引を開始。序盤、米下院での債務上限停止法案可決を受け、ドル買いが進行する中、ドル円は一時140円手前まで上昇。ただ、同水準を付けたところでは米金利の失速に伴い、上昇が一服。海外時間に入ると、米5月ADP雇用統計は市場予想を上回る結果となったものの、米第一四半期単位人件費(確報値)が下方修正され、米5月ISM製造業景気指数が予想を下回る結果であることが確認されるとともにFed高官からは「6月FOMCでは利上げを見送るべき」との発言も報じられる中、ドル円は大きく下落。終盤にかけて139円を割り込み、138円台後半で上値重く推移。そのまま138.80レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

米国では、6月13、14日にFOMCを控えておりますが、市場では利上げ一時停止の見通しが高まっております。今週前半までインフレの止まり懸念を背景に、市場では7月FOMCまでの0.25%追加利上げを徐々に織り込み、ドル高地合いとなっております。ところが、月末31日以降、一部Fed高官から6月会合では金利据え置きに傾いていることを示唆する内容の発言が続きました。FOMCメンバーの中でも利上げ一時停止について意見が分かれていることが伺え、しばらくはドル上値の重い展開となる可能性があります。また、本日米国時間、米5月雇用統計発表を控えており、注視が必要です。(前川)